

# Sharing Nature Activities

ファミリーと若者グループのために

By ジョセフ・コーネルとジャネット・バーロ



日なたで光っているクモの巣、コガラの人を疑わない鳴き声、雨の松林のスパイシーなおい…

私達の多くは自然界の記憶を大切に、私達の人生において自然の美を子どもたちと分かちあいたい。

森の最後の子ども：「自然欠損障害から私たちの子どもを救おう」リチャード Louv の本で、私たちが自然に子供を返す際に直面している多くの困難について話している：「スクリーン時間」の延長、身体活動の不足、および自然からの一般的な疎外。

ジョセフ・コーネルによってシェアリング・ネイチャー協会が創立されて30年間、世界中で子どもたちが自然を近くに感じるのを手伝ってきました。シェアリング・ネイチャー（自然をわかちあう）は、子どもたちに自然界のうれしく深い経験を与えるために、楽しく魅力的な活動を使います。

以下の活動は、簡単にできて、子どもたちに深い影響を与えます。両親、コミュニティリーダー、および子どもと一緒に生活か、仕事か、ボランティアする誰でも、これらの活動がどのような野外の冒険でも大いに強化することができると思うでしょう。

これらの省略したアクティビティの説明は、ジョセフ・コーネルの「ネイチャーゲーム I と II」から引用しています。

## これらの活動をわかちあう：

これらの活動をわかちあうとき2つの重要なポイントを中心にまとめておいてください：

1. 教えることを少なくして、わかちあいと体験を増やします：自然をできるだけ先生にしてください。

あなたが見たものについて知っていることを全部言いたくなる衝動を抑えてください。まず、子どもたちが彼らの感覚と感情を通して自然を体験する事を支援する事に集中してください。

2. 喜びの感覚が体験に満ちていなければなりません：これらの活動を通して、あなたとあなたの子供の両者は、楽しい遊び、あなたを取りまく命の高められた認識、生物への共感および静かな思いといった忘れがたい瞬間を経験することができます。

注：子どもたち子供たちを案内する前に、2、3回、アクティビティを読み通してください。

## ジョセフ・コーネル

ジョセフ・コーネルは今日世界で最も高く評価されている自然教師のひとりです。彼のネイチャーゲームの本は20の言語に翻訳されて、「自然教育において世界的な大変革を引き起こした」という賞賛を勝ち取った。1978年、ジョセフ・コーネルは世界中で彼の仕事を広げるためにシェアリング・ネイチャー協会を設立しました。彼は日本ネイチャーゲーム協会(10,000人を超えるリーダーの組織)の名誉顧問である。  
[www.sharingnature.com](http://www.sharingnature.com) でジョセフ・コーネルとシェアリング・ネイチャー協会について詳しく知ることができます。

ジャネット・バーロウは東カナダのシェアリング・ネイチャーのコーディネーターです。教師、および作家、彼女はまたセンスオブワンダー環境教育の感覚の責任者でもあります。  
<http://www.senseofwonder.ca>

## ネイチャーゲームの情報源

これらのアクティビティの詳細な(より多くの)説明を以下の本で見つけてください：

### Sharing Nature with Children

ネイチャーゲーム I

Sharing Nature with Children II

ネイチャーゲーム II

オンラインから注文できます。

[www.sharingnature.com](http://www.sharingnature.com)

※日本語訳は、下記でオンラインで注文できます

<http://www.ngclub.jp/Multi-Shop-G/index.php>



### バードコーリング

この簡単なコールで鳥をあなたに呼び寄せてください

人数：1以上  
年齢：4歳以上  
道具：なし  
出典：ネイチャーゲーム1

あなたが、鳥を見るか聞きそうな場所で、どれくらいどんな鳥を引きつけることができるか、このバードコール試してください。近くで鳥の声を聞くまで静かに待ってください。いくつかの低木か木の近くに動くことなくひざまずくか立ってください。彼らは、部分的にあなたを隠し、鳥にとまる場所を与える。

鳥をどこかで土地に与えなさい。

コールは一連の繰り返された「psssh」音です。

違う鳥にどう働くか、違うリズムを試してみてください。

スタートのいくつかはここにあります：

psssh…… psssh…… psssh

psssh…… psssh…… psssh-psssh……

psssh…… psssh

各シリーズはおおよそ3秒であるべきです。

やってくる鳥に聞き耳を立てるために、3～4ランドしたら休止してください。

小さな鳥はすぐにまたは全てではなく反応するでしょう。



### カメラゲーム

子どもたちは、長い間彼らの「写真」を覚えていています。

人数：2人以上  
年齢：3歳以上  
道具：人数分のカードと鉛筆  
出典：ネイチャーゲーム2

子どもをたちにペアを組ませます。一方のプレイヤーは写真家で、他はそのカメラです。写真家は、彼の目を閉じたカメラ役を誘導する。写真家は美しく、興味深い写真を捜します。

写真家はカメラのシャッター(目)を、「撮影」したい物体または場面向けて、それから、写真をとるために、シャッターボタンを押します。カメラのシャッターを開くためにカメラの一度肩を軽くたたくことによって、「シャッターボタンを押す」。2度たたくと、カメラに、彼のシャッターを閉じるように言います。写真家は3～5秒の後にシャッターを閉じるべきです。

創造的なショットを試しなさい：異なるアングル、クローズアップ、パノラマショットなど。写真をとる間に、最高なのは可能な限り話さないことです。

少なくとも3つの写真をとるために、写真家に約10分間の猶予を与えてください。

そして、ペアは役割を交換します。

誰もが終わったら、それぞれの子どもがカメラとしてとった大好きな写真を描写するためにカードと鉛筆を使わせてください。グループで写真を分かちあいます。

より幼い子供には大人または年上の子どもと組ませてください。



### 私の木

再びあなたの木を見つけることができるかどうかを確かめなさい。

人数：2人以上  
年齢：4歳以上  
道具：それぞれのペアに目かくし  
出典：ネイチャーゲーム1

子どもにペアを組ませます。パートナーの一方が目隠しされて、他方は森を通過して近くの木に連れて行きます。

「目かくしをした」パートナーは、そのユニークさを感じるために、木の調査をします。子どもたちは言います「あなたのほおを樹皮にこすりつける…この木は生きていますか？…あなたの腕をそのまわりにまわすことができますか？…あなたは根と枝を感じるできますか？…木は、あなたより古いですか？…あなたはその上に成長している植物を見つけることができますか？…動物の痕跡は？…コケ？」

「目かくし」のパートナーが、探検し終わったら、他方のパートナーは彼を、直線的でないルートで最初の所に連れ帰ります。

「目かくし」のパートナーは目隠し布を取って、目を開いて木を見つけようとします。突然、それまでは、森であったものがまさしくただ一つの木のコレクションになります。

双方に木と会うチャンスがあるように、パートナーと役割を交代します。





## カモフラージュ

このゲームは、子どもたちに細かく見るように要求する。

人数：1～30人  
年齢：5～13歳  
道具：人工物  
出典：ネイチャーゲーム1

大小の木、落ち葉、朽ちた丸太および他の植物のある所を通り抜ける小道をさがしてください。コース（必ず2人の人が通るのに十分な広さがあることを確かめなさい）の20～30mの区間の始めと終わりに印をしてください。前もって密かに、小道の片側に沿って16～20個の人工物を隠してください（鮮やかな色の風船とか蛍光ピンクのゴキブリとか）。他は周囲に紛れなければなりません（釘、ゴムバンド、洗濯ばさみ）。あなたが置いた物の数は秘密にしなさい。

子どもたちを一人ずつ、できるだけ多くの物を見つけるように、コースの区間を歩かせてください。彼らが、静かにして物を拾ったり、他の人にそれらを指し示したりしないようにさせます。いくつの物を見つけたか耳にささやかせなさい。物の総数をそれぞれの子どもに話して、より多く見つけようと、もう一度小道を歩かせてください。

子どもたちを一人ずつ、できるだけ多くの物を見つけるように、コースの区間を歩かせてください。彼らが、静かにして物を拾ったり、他の人にそれらを指し示したりしないようにさせます。いくつの物を見つけたか耳にささやかせなさい。物の総数をそれぞれの子どもに話して、より多く見つけようと、もう一度小道を歩かせてください。

2回した後、小道の一端に行き、あなたが進むにつれて、物がどこにあるかについて彼らに言わせて、総てを採集させてください。カモフラージュと色合いが、動物が森の中に隠れるのを助けるか議論しなさい。そして、小さなカモフラージュされた動物（昆虫、クモなど）を探しに行ってください。



## 自然へのインタビュー

別の視点から生命を見ます

人数：1人以上  
年齢：5歳以上  
道具：各人にカードと鉛筆  
出典：ネイチャーゲーム4

それぞれの子どもに（彼が、話すためにおもしろい物語を持っていると感じる）近くの植物、岩、動物を選ばせなさい。それはあなたのいる中心的な集合場所から20～30ヤード(18m～27m)以内でなければなりません。それぞれの子どもは、彼のインタビューに10分間を使う。

子どもは質問をします、人と面談しているかのように。次のように尋ねます「あなたは何者ですか?...あなたの人生でどんなことがありましたか?...ここで生きるのはどんなですか?...あなたが私に話したい特別な何かありますか?」子どもは、質問に対する答えをカードに書くか描くか（彼らの年齢に応じます）します。

再度子どもたちをもとのところ集めて、小グループの中で彼らの「インタビュー」を共有させなさい。



## サウンドマップ

あなたの周りの自然の音を聴き、記録してください。

人数：1人以上  
年齢：5歳以上  
道具：各人にカードと鉛筆  
出典：ネイチャーゲーム2

あなたのグループが、色々な自然の音を聞けそうな場所（例えば草原、森、沼地など）を選んでください。それぞれの子どもは、近くに特別のリスニングスポットを見つけて、カードと鉛筆を持って落ち着いて座ります。

子どもにカードの中心にXを印させます。この印は、サウンドマップで彼らが座っている場所です。彼らに音が聞こえたら、その音を象徴する印をカードに書かなければなりません（例えば：風を現す波打った線、鳥を現す音符など）。地図に印す場所は、おおざっぱに音の方向と距離を示すべきです。

サウンドマップの活動を説明した後、誰でも5～10分間耳を澄まさせてください。時間がたった後、皆が一緒に集まり、それらのサウンドマップをわかちあわせなさい。サウンドマップ活動を説明した後、誰でも5～10分が聞こえないかと耳をすまさせなさい。

# Sharing Nature Foundation

[www.sharingnature.com](http://www.sharingnature.com)

Email: [info@sharingnature.com](mailto:info@sharingnature.com)



## サイレント・ウォーク

自然のと他者に心をかよわせなさい

人数：1人以上  
年齢：5才以上  
道具：なし  
出典：ネイチャーゲーム1

この活動は、トレイルを一緒に静かに歩くことが必要です。特に夜明けまたは夕暮れ時の、この活動の沈黙とハーモニーは、私たちが世界を生きとし生ける物と共有しているという認識を生み出します。

子どもたちが話さずにトレイルをあなたに静かにあなたの後についてこななければならないと、説明してください。動物があなたから逃走するのでなく、代わりにあなたを見るために立ち止まるようにするアイデアは、森林に溶け込むことです。あなたは部外者としてというよりも共同メンバーとして彼らの世界に入っていて、自然は自身の一部としてあなたを受け入れます。

自身を落ち着かせ静かになるために数分間黙って座ることから始めてください。それから、トレイルに子どもたちを案内してください。

誰か、わからあいたいと思う何かを見るか聞かしたとき、彼はそっとたたくことと彼が注目しているものを指さすことで他の人に合図します。グループが静かなままでいることができれば、いくらでも長い時間歩いてください。少なくとも10分間はトライしてください。

## 安全のヒント

森、流れや湖のすぐそば、海の近くにいるとき安全について心にとめていてください。水、軽食、および小さな応急手当キット(そして、使い方を知っている)を持って来てください。あなたがどこに行くか、そしていつ帰る予定かを他の誰かに話してください。

アレルギー、活動の制限、または病状について心に留めていてください。有毒植物と危険な動物にも通じていてください。

目隠をしているか目を閉じているパートナーを案内する時は、子どもたちに非常に身長であるように指示してください。

目を開けているリーダーは、パートナーの手を取り、行きたい方向に穏やかに腕を引かなければなりません。彼はパートナーの周りで案内してゆっくり歩き、パートナーが枝の下をくぐるときや丸太や根をまたぐときは声をかけなければなりません。私の木やカメラゲームをする前には、子どもたちが、責任を持って互いを導くのに十分に成熟していて、冷静であることを確かめてください。

それぞれのアクティビティの要点を説明してから、道具を渡してください。これは、

道具があなたの指示を聞くことから子どもの気を散らさないことを保証するためです。手近に道具を用意しておいて、活動がうまく流れるように、素早く出して渡してください。



**Sharing Nature Foundation**

[www.sharingnature.com](http://www.sharingnature.com)

Email: [info@sharingnature.com](mailto:info@sharingnature.com)

## Freely Share These Activities with Others

Permission is granted to copy or download and print *Sharing Nature Activities for Families & Youth Groups* at: [www.sharingnature.com/articles.pdf](http://www.sharingnature.com/articles.pdf)

For all other uses, please contact Sharing Nature Foundation.

Copyright 2008 Joseph Cornell

## Credits:

内容： Joseph Cornell  
レイアウト： by Amy Ford  
写真撮影： by Duane Ford